

各位

上場会社名 FDK株式会社
 代表者 代表取締役社長 望月 道正
 (コード番号 6955)
 問合せ先責任者 広報・IR室長 平野 芳晴
 (TEL 03-5715-7400)

平成29年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年4月27日に開示した平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	82,000	1,500	1,000	500	1.79
今回修正予想(B)	75,000	200	△200	10	0.04
増減額(B-A)	△7,000	△1,300	△1,200	△490	
増減率(%)	△8.5	△86.7	—	△98.0	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	80,745	1,580	658	167	0.60

修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境について、米国の内需が堅調に推移しているものの、中国をはじめとした新興国経済の減速、資源国や欧州の景気低迷に加え、国内では個人消費の長期停滞、英国のEU離脱問題や地政学リスクの増大に伴う円高による収益の下振れ懸念など、先行きが不透明な状況が続いております。

下期以降、クリスマス・年末商戦など電池製品の最需要期をむかえ、アルカリ乾電池・ニッケル水素電池の数量増で電池事業は堅調を維持するものの、電子事業での低迷の継続や円高に伴う換算の目減りにより、期初の計画に比べて売上減が生じる見込みです。

また、損益面においても、上記のような事業環境により経営全般に渡る経費削減やコストダウンに取り組んでいるものの、上記の売上減に加え、円高と材料価格の上昇による影響が大きく営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも期初の計画に比べて減少する見込みとなったため、通期の業績予想について上記のとおり修正いたします。

なお、本業績予想における為替レートは、1USD=100円(前回予想110円)、1ユーロ=110円(前回予想130円)を前提としております。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上